

僕にできることって何だろう

仲町小学校 六年 長谷川 陸

「ボランティアって何だろう？ 何をすれば

いいんだろう？」と、僕は考えました。

学校の授業と福祉について学習し、車イスの体験や、体の不自由な人の思いを知り、大変なことを学びました。

体の不自由な人を助けることだけがボランティアというのか？他にどんなことがあるんだろうか？と思い、母に聞いてみると、

「ボランティアというのは、自分たちがお世話になった人や場所に感謝の気持ちを伝える。そして人の助けになったり、笑顔になってもらい、少しでも喜んでもらうことなんじゃないかな？」と、母は言いました。

ボランティア活動をする時の大切なことも教えてもらいました。

まずは、やってみること。ボランティアをするには、面どうだと思ふこともあるかも

しれない。だけれど、やってみれば、笑顔にな
って喜んでもらえることの楽しさ、うれしさ
がある。だから、考えているより、まずはや
ってみることにしようと思います。

僕は今、子ども会の会長として、市内の学
校の代表の人達と、いろいろな行事に参加し
ています。

そこを僕たちに教えてくれている、中学生
や高校生のリーダー達が、僕に一番近いボラン
ティア活動の先ばいだと気付きました。

初めて活動する時に、知っている人がいな
くてきん張している僕に、やさしく声をかけ
てくれた中学生のお兄さん。そのお兄さんの
おかげで、そのあとの活動を楽しむことがで
きました。

秋は市の百年じゆくのイベントに、僕たち
も子どもリーダーとして参加します。
どんなことが僕にできるかまだわからない
けれど、みんなが笑顔になれるような活動がで
きたらいいなと思います。